

たからもの

～子ども服から着想した笑顔になれる作品制作～



滝澤研究室 東郷美咲



INTRODUCTION 〈導入〉

本卒業制作は、著者のサークルの代表としてコロナ禍と向き合った経験が起因している。コロナ禍は多くを諦める理由になり、「仕方がない」と楽な方を選ぶことを正当化したが、諦めて無難を選べば楽しみが減り、その結果サークルの人数が減少し存続が難しくなった。そして存続を願い、楽しみたい人が再び集うには「未来にわくわくすること」が必要だという結論に至った。この経験から本制作では再確認した、未来にわくわくすることを大切にしたいという自分の想いから、素直で好奇心溢れる幼少期に着目し、子ども服から発想を得た作品制作を行うことにした。また、大学4年間で学んだ専門的な知識、技術の集大成として、作品を作り上げることを目的とした。

THEME・RESEARCH 〈テーマ・リサーチ〉

幼少期、大切なものは宝箱にしまっていたことを思い出し、テーマを「たからもの」と設定した。先ず、マインドマップより「虹」「小人」「無邪気」「素直」「童心」の5つの要素を見出した。続いて子ども服らしい柔らかな素材や虹を連想する色の画像を収集した。リサーチを進めた結果、Aラインのシルエットからはスマックや雨合羽を連想させ、無邪気に遊ぶ様子を表現できると考えた。更に、ベビースタイからでは襟のシルエットと素材の着想を得た。加えてカラフルな色から虹を想起し、その高揚感を表現しようと考えた。

MOODBOARD 〈ムードボード〉

リサーチ結果より、デザインコンセプトを「子どものように童心に返りわくわくするもの」としムードボードを制作した(図1)。5つのキーワードを表現する為に、カラフルな色味、肌触りの良さそうな柔らかいイメージの画像、子ども服の画像や小人の写真で構成した。



図1 ムードボード

DESIGN 〈デザイン〉

ムードボードをもとに80体のデザイン展開を行い、コレクションラインとして20体を選定した。スマックやベビースタイのイメージから、Aライン、大きな襟、すぼまつた袖といったデザインを共通させ、最もテーマに合うものを制作することにした(図2)。



図2 デザイン画

PRODUCTION 〈制作〉



パターン設計
アパレルCADソフトで設計した後、トルワルに写し、両身分組み上げた。バランスを確認し、マスターパターンが完成了。

印付け・裏打ち
チャコを使わず糸で地の目線と出来上がり線に印をつけた。その後、裏側にオーガンジーを縫い付けた。

仮縫い
針目0.3cmの手縫いで仮縫いをし、試着補正により問題がないか確認した。



本縫い
縫い代処理をして開き部分にコンシールファスナーを縫い付けた。



続いてカフス、袖、襟を縫い付け、襟ぐりとアームホールの縫い代はバイアステープで処理した。



仕上げ
プリーツの付け根に端ミシンとはしまつりを施し、アイロンをあてた。

CONCLUTION 〈結論〉

現在もなおコロナ禍は続いているが、自身の悩みや困難を含め様々な問題が絶え間なく渦巻いている。現実と対峙して、素直な意思や好奇心を忘れてしまわぬよう、本制作が著者を含め「童心」を思い出すきっかけとなれば良いと考える。

また本制作の全工程において、細かくて丁寧な作業に対し手を抜かず取り組んだことで、オートクチュールの価値を理解した。4年間の集大成としてふさわしい作品を作り上げることができたと考えている。

